



毛呂山町役場旧庁舎（昭和32年10月）

建設されたばかりの毛呂山町役場旧庁舎です。現在の中央公民館の駐車場のあたりに建てられ、目の前には大麦畑が広がっていました。現在、周囲の景色はすっかり変わってしまいましたが、後ろにそびえる臥龍山だけは、昔のままです。

募集中

昭和50年代ごろまでの昔の写真を募集しています。提供いただける方は、役場秘書広報課広報広聴係 ☎ (295) 2112 内線332までご連絡ください。

現在の風景



徒然歳時記

あゝ 藍

藍は青色の染料を作るために古くから栽培されてきたタデ科の一年草です。9月から10月にかけて、赤や白の小さな花が穂のように密生して咲きます。

この藍の葉を刻んで発酵させ、白でひいて干し固めた「藍玉」が藍染めの原料となります。藍で染めると生地が強くなり、マムシや毒虫除けにもなるため、野良着や作業着、手拭いなど、さまざまなものに使用されました。また、藍染めの衣類には止血効果もあるため、鎧の下には藍染めの衣服を着用するのが常でした。江戸時代の城下町では、皮膚病伝染を防止するため、城の近くには藍染めを営む紺屋を置いていたといえます。

毛呂山町でも、藍染めは江戸時代中期以降、庶民の生活に盛んにとり入れられてきました。しかし、明治末期にドイツの化学染料「人造藍」の輸入が急増し、藍染めは衰退の一途をたどります。

歴史民俗資料館では、毛呂山町の藍染めや織りの伝統を復活させ、未来に引き継いでいこうと、毎年『藍染め教室』を開催し、多くの人に参加しています。また、今年の資料館まつりでも、藍染めの体験教室が行われます。伝統の知恵と技をこれからも大切にしていきたいものです。

【編集後記】 毎年、夏休みに行われる子ども議会。取材をするたびに、子ども議員の新鮮な意見と眼差しに、「毛呂山町の未来は明るい！」と頼もしさを感じます。感心してばかりいないで、私も胸を打つような広報づくりに努めなくてはと悪戦苦闘の毎日です。 (M)

わがやのアイドル



富口 桜耶ちゃん
(1歳3か月)

お祭り大好き。アンパンマン大好き。おてんばで食いしん坊な女の子。桜耶姫です。よろしくね。



小山 裕宇くん
(3歳)
乃愛ちゃん
(1歳)

妹にオモチャを貸さない兄と、何でも興味をもつ年ごろの妹です♥お友達を募集中です！ 見かけたら声をかけてください！

■秘書広報課では「わがやのアイドル」を募集中です。
☎・問 役場秘書広報課 ☎ (295) 2112 内線 332

広報もろやま 9月20日号 No.829 〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地
■発行 毛呂山町 ■1部当り 34.8円 TEL 049(295)2112 Fax 049(295)0771
■編集 秘書広報課広報広聴係 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp>

人口 36,915人 (-46人) 世帯 15,697戸 (+714戸)
【男 18,445人 (-9人) 女 18,470人 (-37人)】
※平成21年9月1日現在(カッコ)内は前月比
※9月1日より、入院者・入所者を世帯としています。

口広報もろやまは、役場ホール、両公民館、図書館、保健センター、教育センター、総合公園体育館、歴史民俗資料館、福祉会館に置いてあります。